



5月号 令和4年5月2日
茅ヶ崎市立鶴が台小学校
校長 渡邊 美和

新年度が始まり、1か月が経ちました。子どもたちは、新しい環境に少しずつ慣れて、元気よく活動しています。まだまだ新型コロナウイルス感染症の危惧が続き、学校生活も制限がある中での活動となっています。しかし、できることを工夫しながら実施するように、教職員一同一丸となり、教育活動に取り組んでいきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

学校教育目標： 心豊かに 未来を生き抜く力を育む ～「小さな学校 大きな家族」

昨年度より引き続き、この学校教育目標に向けて全教職員が共通理解をもち、重点目標『「ひと、もの、こと」との豊富な関わりの中で考える力を伸ばす』ことを目指し、「自分ごととして考える子」「ねばり強くやり抜く子」「自分も人も大切にできる子」を育てていくことができるよう、努力してまいります。

頼りになる6年生です！

鶴が台小学校では、茅ヶ崎市内で一番児童数が少ない小規模校の利点を生かし、学年の枠にとらわれず、縦のつながりを大切に活動を行っています。さっそく、6年生が1年生の活動にかかわり、6年生の背中を見ながら1年生が学び始めています。6年生は、1年生の教室へ行って、お掃除だけでなく様々なお手伝いをしています。学校生活に慣れるように一緒に休み時間を過ごし、遊んでいる姿も見られます。また、授業にも参加し、廊下には共同で作成した粘土の作品が飾ってあります。20日から始まった給食では、牛乳パックを開く作業も6年生が上手に教えながら行うことで、とてもスムーズにできるようになりました。バディとの信頼関係もできてきて、とても頼りになる存在です。

1年生を迎える会 ～全校遠足～ 4/28(金)

テーマ「出会い 手は触れなくても、心はつながる」

今年度も、1～6年の児童が12の異学年グループを作り、たてわり活動を行う計画を立てています。そのグループによる初めての活動である全校遠足。4月28日(金)に、全校児童で中央公園に歩いて行ってきました。

初めに、たてわりグループの教室に集まり、自己紹介をしたあと一緒に行動するバディを決めました。9時45分ごろに学校を出発し、中央公園へと向かいました。暑すぎず、曇り空ではありましたが過ごしやすい気候の中、とても楽しい時間を過ごせました。たてわり活動ということで、日ごろはなかなか話すことがないグループでしたが、すぐに打ち解け、鬼ごっこやどろけい、だるまさんが転んだやドッジボールなど、たくさんの遊びをすることができました。1年生にとっては長い道のりでしたが、しっかりと最後まで歩ききることができたのはとても立派でした。

きっとこの一年間、様々な場面で心を通わせ素敵な時間をたくさん紡いでくれることと思います。どうぞ温かく見守っていただきますようよろしくお願いいたします。保護者の皆様、お弁当のご協力を、ありがとうございました。